

ゼパニヤ書

第一章

一 アモンの子ユダの王ヨシヤの世にゼパニヤに臨めるエホバの言ゼパニヤはクシの子クシはゲダ
 リヤの子ゲダリヤはアマリヤの子アマリヤはヒゼキヤの子なり

二 エホバ言たまふわれ地の面よりすべての物をはらひのぞかん
 われ人と獣畜をほろぼし絶んエホバこれを言ふ
 われユダと

三 および蹟礙になる者と悪人とを滅さん我かならず地の面より人をほろぼし絶んエホバこれを言ふ
 われユダと

四 エルサレムの一切の居民との上に手を伸ん我この處よりかの漏のこれるバアルを絶ちケマリムの名を祭司と與に

五 絶ち また屋上にて天の衆軍を拜む者エホバに誓を立て、拜みながらも亦おのれの王を指て誓ふことをする者

六 エホバに侍り離るゝ者エホバを求めず尋ねざる者を絶ん

七 汝主エホバの前に黙せよそはエホバの日近づきエホバすでに犠牲を備へその招くべき者をさだめ給ひたれ

八 ばなり エホバの犠牲の日に我もろもろの牧伯と王の子等および凡て異邦の衣服を着る者を罰すべし
 その

九 日には我また凡て鬪をとびこえ強暴と詭譎をもて獲たる物をおのが主の家に満す者等を罰せん
 エホバ曰たま

一〇 はくその日には魚の門より呼號の聲おこり下邑より喚く聲おこり山々より大なる敗壞おこらん
 マクテシの

一一 民よ汝ら叫べ其は商賣する民悉くほろび銀を擔ふ者悉く絶たればなり
 その時はわれ燈をもちてエルサレ

一二 ムの中を尋ねん而して滓の上に居着て心の中にエホバは福をもなさず災をもなさずといふものを罰すべし

イ何四・三 二何一〇・五 ト祭四八・一 何四・ 三、一七、一五・六 ヲ祭三四・六 耶四六 タ雅五・一
 口結七・一九、一四・ ホ王下二三・一二 耶 一五 又何七七 二〇 結三九・一七 レ耶四八・一一 摩六
 三、四、七 太二三・ 一九・二三 一、一、三三 王上 一、一、三三 二、一、三三 耶四九・一七 二、一
 四一 へ王上一八・二二 王 一、一、三三 耶二二・一 王祭二三・六 力耶三九・六 ソ詩九四・七
 ハ王下二三・四、五 下二七・三三、四一 耶二二・一 王祭二三・六 代下三三・一四

ク耶二三・一一、三二 ケ申三三・四
 哀二・一四 何九・七 フ耶三三・三、六・一五、
 十結二三・二六、八・一二
 マ番三・一五、一七米 ヨ耶八・六
 三・一一 エ創六・一一
 一詩二七・一四、三七 ユ詩六八・三一 賽 太三・九
 一八・一、七、六〇 ミ賽一四・三二 亞 二賽六〇・二一
 ア耳三・二 四馬一・一一 徒 一・一一 太五・三 七賽六三・八 歌一四 一 亞二・一〇、九
 サ番一・一八 八・二七 哥前二・二七 雅二 五
 キ賽一九・一八 ヌ耶七・四 米三・一一 五
 シ米四・七 番二・七 四、七・一四 七賽一二・六、五四、
 一 亞二・一〇、九
 九

遺さざる夜求食する 狼のごとし 四 その預言者は傲りかつ詐る人なりその祭司は聖物を汚し律法を破ることを

なせり 五 その中にいますエホバは義くして不義を行ひたまはず朝な朝な己の公義を顯して缺ることなし然るに

不義なる者は恥を知す 六 我國々の民を滅したればその櫓は凡て荒たり我これが街を荒涼れしめたれば往來す

る者なしその邑々は滅びて人なく住む者なきに至れり 七 われ前に言ひ汝たゞ我を畏れまた警戒を受べし然らば

その住家は我が凡て之につきて定めたる所の如くに滅されざるべしと然るに彼等は夙に起て己の一切の行狀を

壊れり 八 エホバ曰たまふ是ゆるに汝らわが起て獲物をする日いたるまで我を俟て我もろもろの民を集へ諸の國を

聚めてわが憤恨とわが烈き忿怒を盡くその上にそゝがんと思ひ定む全地はわが嫉妬の火に焼ほろぼさるべし

九 その時われ國々の民に清き唇をあたへ彼らをして凡てエホバの名を呼しめ心をあはせて之につかへしめん

一〇 わが散せし者等の女即ち我を拜む者エテオピアの河々の彼旁よりもきたりてわれに禮ものをさゝぐべし

二 その日には汝われに對てをかしきたりし諸の行爲をもて羞を得ことなかるべしその時には我なんぢの中より

高ぶり樂む者等を除けば汝かさねてわが聖山にて傲り高ぶることなければなり 三 われ柔和にして貧き民をなん

ぢの中のごさん彼らはエホバの名に依頼むべし 四 イスラエルの遺れる者は惡を行はず謙をいはすその口の

うちには詐偽の舌なし彼らは草食ひ臥やすまん之を懼れしむる者なかるべし

一四 シオンの女よ歡喜の聲を擧よイスラエルよ樂み呼はれエルサレムの女よ心のかぎり喜び樂め 一五 エホバ

一五 ぜパニヤ書 三・四——一五 一五六七

すでに汝の鞫を止め汝の敵を逐はらひたまへりイスラエルの王エホバ汝の中にいます汝はかさねて災禍にあふ
 ことあらじ 一六 その日にはエルサレムに向ひて言あらん懼るゝなかれシオンよ汝の手をしなへ垂るゝなかれと
 一七 なんぢの神エホバなんぢの中にいます彼は拯救を施す勇士なり彼なんぢのために喜び樂み愛の餘りに黙し
 一八 汝のために喜びて呼はりたまふ 一八 われ節會のことにつきて憂ふるものを集めん彼等は汝より出し者なり恥辱
 一九 かれらに蒙むること重負のごとし 一九 視よその時われ汝を虐遇る者を 盡く處置し足蹇たるものを救ひ逐はなた
 二〇 れたる者を集め彼らをして其羞辱を蒙りし一切の國にて稱譽を得させ名を得さすべし 二〇 その時われ汝らを携へ
 その時われ汝らを集むべし我なんぢらの目の前において汝らの俘囚をかへし汝らをして地上の萬國に名を得させ
 稱譽を得さすべしエホバこれを言ふ

ゼパニヤ書 をはり

イ約一・四九 一五、二一・三、四 水番三・一五 耶三二・四一 二八・二五、三四・
 口結四八・三五 番三 八三三・三、四 へ申三〇・九 賽六二 卜哀二・六 一三、三七・二二
 ・五、一七 黙七・ 二來一二・二二 五、六五・一九 子結三四・一六 米四 二二、五六・八結 歴九・一四